

2016 レース結果報告書

全日本選手権第7戦(岡山)
茂木選手権 第6戦



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

レース

Race

全日本選手権・茂木大会を終えた後、残りの岡山・鈴鹿の2戦をどうするべきかをチームでミーティングした結果、ランキング3位の武佐は岡山・鈴鹿に参戦。折川は最終戦鈴鹿に的を絞り岡山大会の間に走り込みを実施。鈴鹿での練習を重ねて最終戦に備える事を決定しました。

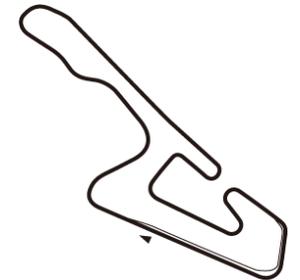
武佐は未経験の岡山ですが、少しでもポイントを獲得し最終戦に向かうため参戦となりました。一方茂木に残り最終戦を迎えた伊能はランキングを一つでもあげる為に全日本以後も走り込みを続け最終戦に臨みました。そのレース結果をご報告いたします。

トンベイ名 : 全日本選手権第7戦

開催日 : 2016年9月25日

スーレ結果: JP250 #63 武佐英典 予選29位 決勝19位 ランキング5位

WEBリザルト : http://www.okayama-international-circuit.jp/miru/result/pdf/2_51_1690_1474710826final.pdf



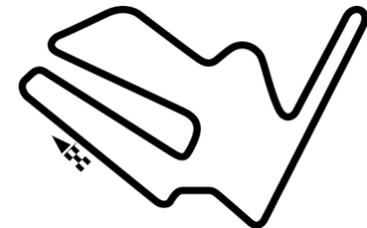
トンベイ名 : 茂木選手権第6戦

開催日 : 2016年9月24日

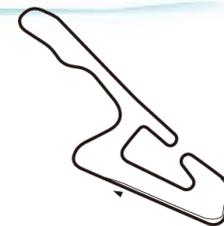
スーレ結果: JP250 #78 伊能直矢 予選6位 決勝2位 ランキング7位

WEBリザルト :

http://www.twinring.jp/result_m/2016/2wheel/0924_jp250_f.html



全日本選手権第7戦・レース



Race

初体験となる為、岡山国際サーキットに参戦した武佐英典は事前テストとしてレース開催の1週間前に岡山入りしてテスト走行を実施。生憎のウエットコンディションでしたが、昨年のウエットコンディションでのレースのベストタイムを更新して、まずまずの感触を得ることが出来ました。そしてレースウイーク初日の走行も雨となり、序盤は上々の走りでしたが2分5秒台まで来た所で雨に足をすくわれて大転倒を喫してしまいます。ライダーは打撲で済みましたがマシンが大破、フォーク、三ツ又、その他の交換でその後の走行はキャンセル。翌日のスポーツ走行1本目は雨の中動作確認。2本目は乾き始めたもののWETタイヤで出ていき雨のライトレース癖が抜けずに56秒台止まり。ペースが上がらないまま決勝の日を迎えます。

迎えた土曜日の決勝。雨は上がり路面はドライコンディション。初のドライ走行ですが10分しかないので先頭で出て行くも52秒しか出ずトップと4秒落ちで29番手とかつて無い後方待機。決勝はスタートをそこそこで決めて無難に1周目を守り、レースモードになった所でやっと50秒台に入るもあっという間に8週のレースは終了。

レース後にペナルティなどもあり総合19位。クラス11位の結果となりました。

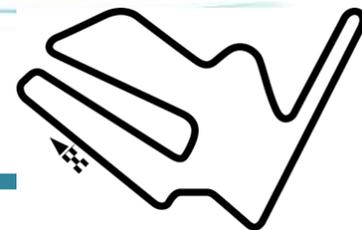
この結果、最終戦をランキング3位、トップとのポイント差は26ポイント差で逆転は無理ですが、2番手とは7ポイント差。一つでもランキングを上げられるよう最終戦鈴鹿に臨みます。



MFJ CUP NAT STANDING	
笠井 悠太	68
田中 敬秀	49
武佐 英典	42
前田 龍哉	40
小椋 華恋	31

MFJ CUP 第5戦 岡山 終了時点

茂木選手権第6戦・レース



Race

茂木最終戦に臨む伊能は全日本選手権後に走り込みを実施。250以外にも150のバイクを使いミニコース等を時間の許す限り走り込み、全日本の時の雪辱に向け練習を重ねました。気合を入れて臨んだ茂木の最終戦ですが、レースウイークの事前練習が雨となってしまいます。ウエットコンディションの中で走り込む伊能ですがテスト終盤に強風にあおられてコースサイドに押し出されてしまいスリップ転倒を喫してしまいます。幸いマン&マシン共にダメージが少なく無事にレースウイークを迎えます。

不安定な天候の中で迎えた最終戦。公式予選はーフウエットとなりリズムをつかめないまま予選を終えた伊能は6番手に沈んでしまう。午後になり決勝を迎える直前に雨が落ち始め路面は一気にウエットコンディションに変わり急遽レインタイヤに交換してスタートします。上々のスタートで1周目に4番手に浮上。3周目に前を行く菊池選手を追い抜き3番手に浮上して前を追いますがトップ2台には若干離されてしまいます。後続を引き離しながら前を追うとトップの藤井選手が転倒。これにより2番手に上がった伊能はそのままチェッカーを潜り今季初表彰台を獲得しました。



コメント

Ofisyaru Comment

武佐英典

「残念ながら今回は初のサーキットで雨が続き、レインコンディションの中で慎重になりすぎてしまい攻めきる事が出来ていませんでした。それでも、ほぼ同じ条件で走った関東の若い子らはポールだったり、シングルフィニッシュしているだけに適応能力性の不足、更に追い打ちをかける転倒によるフィジカルダメージが大きく響き、情けない結果となってしまいました。」



伊能直矢

「今年は開幕戦でドクターストップにより出場できなくなってタイトル争いからいきなり外れてしまったのでタイムの更新と優勝を目指して戦ってきましたが思うようにいかずに悔しいシーズンでした。それでも最終戦で表彰台に上がる事が出来てとても嬉しかったです。この感激を忘れずに来季こそタイトル獲得を目指します。」



監督

「武佐は初コースでどこまで戦えるか楽しみにしていましたが雨に翻弄される形になり決勝では力を出し切ることなくレースを終えてしまい悔しい思いですね。事前テストから続いた雨のせいでウエットコンディションならそこそが行けそうとの報告を聞いていましたが、レースウィークに侵してはいけないミスで貴重な時間を失い、精神的にもネガティブになっていたようで残念。残すは鈴鹿の最終戦。気持ちを引き締め直して臨んでもらいたい。」



伊能は同じくレースウィークの転倒で悪影響が出ないか心配でしたが、上手く気持ちを切り替えて攻めきってこれたようで今季の初表彰台を獲得。本来の力を出せば当然のポジションだけに今回の結果で自信を取り戻し来季に向け弾みをつけてもらいたいですね。」



スポンサー

Sponsor

Sponsor



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！

